

# PCSA アクションレポート（理事会）

平成 30 年 3 月版

## 3 月拡大理事会

開催日時 平成 30 年 3 月 22 日（木） 午後 3 時～午後 4 時 30 分

開催場所 PCSA 会議室

出席者 理事 10 名、幹部 3 名、合計 13 名

### <代表理事>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

### <副代表理事>

大石 明德 株式会社ニラク 取締役

齋藤 周平 株式会社グランド近江 社長執行役員（株式会社グランド商事・アドバンス）

### <理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長

金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長

河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長

城山 朝春 ミカド観光株式会社 経営企画室長（城山 稔央理事代理）

福井 宏彰 株式会社ポネール アミューズメント事業部次長（荒俣 伸一理事 代理出席）

### <専務理事>

中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

※理事 10 名

### <監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 代表取締役社長

宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役

### <モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

### <アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表

藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長

第 1 号審議議案「第 17 期 事業活動計画・事業予算（案）」審議【承認】

第 2 号審議議案「冊子の電子化」審議【承認】

当件について、事務局より説明があった。

<<第 1 号審議議案 第 17 期予算案についての説明>>

<第 16 期の振り返り>

第 16 期定時社員総会（平成 29 年 5 月）の事業予算（収入、支出）と比較すると、現在の第 16 期通期見通しは、全体で赤字。そのうち収入の部でマイナス、支出の部でプラスがあった。

収入のマイナスは、正会員休会、賛助会員退会、賛助会員入会、賛助会員休会、特別会員入会に影響に加え、会員企業の店舗数減少による月額会費の減少による。

支出のプラスの大きい部分は、依存対策、ビジネスアイ広告、旅費交通費、会議費であった。

<第 17 期予算の改善策>

2 月までの理事会で、別添の表⑬項目について削減の指摘があった。

更に⑭から⑰までの項目を追加して、17 期予算案に組み込んだ。

最終的に全ての項目を反映させた結果、第 17 期予算案は、収入と支出で若干のプラスとなった。

<指摘事項①～⑬で、今回の予算案に反映していない項目>

- ① 研究部会地方開催費用 参加者負担
- ④ 人件費の据え置き
- ⑧ 新聞図書費をゼロにする
- ⑨ 事務所の家賃交渉 or 引っ越しの検討
- ⑫ フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ 非継続

<追加で加えた項目>

- ⑭ 事務局コピー機 再契約時の契約見直し
- ⑮ 「研究部会活動の記録」「アイデア・エッセイ特集号」の電子化（第 2 号審議議案）
- ⑯ 交際費削減 交際費を最小限に抑える
- ⑰ 予備費の設定 第三者機関など依存問題対策経費の増加予想のため

<意見>

- ・⑮のペーパーレスの内容は？  
> 「研究部会活動の記録」「アイデア・エッセイ特集号」について、紙での配布を止め、案内とホームページでの閲覧、ホームページからのプリントで対応にする。
- ・今期、損益計算書上の赤字となるが、貸借対照表にどう反映するのか？  
> 現在の現金から削る。
- ・赤字を基金から削るかどうかは決議事項と思われる。繰越欠損金で置いておく方法もある。  
> 決算時に税理士の指導でそのようにしている。  
> 税理士の一番いいと思われる意見で、対応を検討してほしい。

<<第 2 号審議議案「冊子の電子化」審議>>

提案理由：現在、理事会にて第 17 期事業予算について検討しているが、研究部会で来季の拡大部会に説明をした際に「コスト削減の方法としてペーパーレスを検討してはどうか」と提案を受け、費用、メリット・デメリット等について検討をした。それを踏まえ、冊子の電子化を進めるかどうか審議をいただきたい。

<冊子電子化の方法>

1. 対象：「PCSA チャレンジブック」「研究部会活動の記録」「アイデア・エッセイ特集号」
2. 運用：上記の冊子をホームページに掲載。そこで閲覧、プリントアウトできるようにする。  
一括して印刷するのではなく、必要に応じてプリントアウトして活用する。

<コスト削減対象>

「PCSA チャレンジブック」、「研究部会活動の記録」、「アイデア・エッセイ特集号」

※チャレンジブックデザイン料は、必要とする。

<冊子単価比較>

「PCSA チャレンジブック」 印刷：127 円 プリントアウト：94 円

「研究部会活動の記録」 印刷：368 円 プリントアウト：90 円

「アイデア・エッセイ特集号」 印刷：162 円 プリントアウト：40 円

<メリット>

- ・いずれの冊子も印刷よりもプリントアウトの単価が安くなる。
- ・チャレンジブックの情報の更新が容易になる。（現状、途中で名簿の変更があった時には名簿の上から新しい名簿を貼り付けて使用している）
- ・予備分の冊子を印刷する事が無いため、紙の破棄がほぼ無くなる。

<デメリット>

- ・印刷は「フチなし印刷」「つや有り紙」「表紙と本文の紙の変更」等が可能でデザイン性が高い。
- ・会員・賛助会員への配布・配信方法をどうするか、改めて検討が必要。
- ・同様に会員・賛助会員以外への配布・配信方法をどうするか、改めて検討が必要。

<意見>

- ・研究部会活動の記録は相当なページあるが 90 円で収まるのか？内訳は？
  - > 基本数量はページ数 72 ページ、コピー数 36 回、A3 紙枚数 18 枚。  
コピー代（1 円 x 36 回） + A3 上質紙（3 円 x 18 枚） = 90 円
- ・作業における人件費が抜けている。
  - > その通りで、特にチャレンジブックは 1 冊 1 分程度かかる。1 時間に 60 冊、1 日 8 時間で 480 冊の生産量。従来通りの 6500 冊印刷するには 2 週間かかってしまう。大量に印刷する場合、コピーで済ませるのは現実的では無い。
- ・それぞれの冊子の発行部数は？
  - > 「チャレンジブック」6500 部、「活動の記録」900 部、「アイデア・エッセイ」700 部。
- ・電子化の運用方法を改めて説明してほしい。
  - > 基本的には冊子の発行案内をメール等で送り、ホームページに掲載したものを閲覧してもらう。必要であれば、それぞれホームページからプリントアウトしていただく。
- ・チャレンジブックについて、それだけ部数が必要かどうか会員・賛助会員に聞いてほしい。見る人は限られているので、1 社十数部で十分かも知れない。
- ・その他の送り先についても、どこに送るべきか再検討が必要。
- ・数量を減らしたら印刷代は減るのか？
  - > 印刷であればそんなに大きな削減はできない。コピーで済ませれば大幅に削減できる。
- ・チャレンジブックはペーパーで必要。部数は必要最小限まで下げる。必要部数を確認する。
- ・チャレンジブックの対外的な送り先も整理する。無駄になっている分も多いはず。
- ・チャレンジブックは事務局で会員増加促進に利用して、会員は数部でいい。
- ・電子化した方が使いやすい。ホームページに掲載してあればいつでもどこでも見られるので便利。
  - > 必要な分だけカラーコピーすればいい。（従来の方法は表紙フルカラー、本文 2 色カラー。1 部 94 円）
  - > （コピーサンプルを閲覧）一同：これならコピーでいい。
- ・第 1 号議案の予算で収まるのか？
  - > 3 冊とも電子化をすると予算は余る。第 1 号議案の予算は「活動の記録」「アイデア・エッセイ」を電子化として出している。
- ・コピーに人件費がかかるので、外部発注の検討をする。
- ・バックナンバーも電子化してほしい。

<まとめ>

- ・「活動の記録」「アイデア・エッセイ」は電子化の対応とする。
- ・「チャレンジブック」も基本は電子化であるが、部数を減らしてカラー（表紙フルカラー・本文 2 色）コピーでプリントアウトして配布する。（正会員・賛助会員に部数を確認し、外部の配布先は精査して減らす）
- ・「チャレンジブック」のプリントアウトは外部を活用した場合の金額を出す。
- ・これらを踏まえ予算を組みなおしたら代表理事に報告し、承認を得る。

<審議>

加藤：最終的に第 2 号議案を反映して予算案を作成する、これを踏まえた内容で 1 号、2 号議案を進めてよろしいか？

一同：異議なし。

<17 期事業活動計画及び予算（事務局案）作成平成 30 年 2 月>

1【会員拡大】

- ① 執行部会員を中心に新会員の入会活動を強力に進める
- ② 会員及び賛助会員は新会員の拡大に積極的に尽力を尽くす
- ③ 各研究部会リーダー並びに部員は、東京以外の地域にて自研究部会開催時に開催地域のホール企業及び業界関係者の参加を積極的に行い新会員の拡大に尽力する
- ④ 事務局は公開経営勉強会等への出席ホール企業並びに遊技産業関連企業に対して PCSA 活動紹介、積極的に入会を勧める
- ⑤ 東京以外の都市にて開催する拡大理事会及びその他 PCSA 行事に開催地元ホール企業を招待して PCSA 活動を理解願ひ、入会を勧める

2【総会】開催場所：「TKP プレミアムガーデン神保町」

定時社員総会	開催日：	平成 30 年 5 月 31 日（木）
第 1 回臨時社員総会		8 月 23 日（木）
第 2 回臨時社員総会		11 月 15 日（木）
第 3 回臨時社員総会		平成 31 年 2 月 21 日（木）

3【経営勉強会】開催会場は上記定時社員総会・臨時社員総会会場

第 64 回経営勉強会	開催日：	平成 30 年 5 月 31 日（木）
第 65 回公開経営勉強会		8 月 23 日（木）
第 66 回経営勉強会		11 月 15 日（木）
第 67 回公開経営勉強会		平成 31 年 2 月 21 日（木）

4【理事会】毎月開催・開催会場は PCSA 会議室を中心に開催

通常理事会	5 月・8 月・11 月・2 月
拡大理事会	4 月・6 月・7 月・9 月・10 月・12 月・1 月・3 月
	（9 月に東京以外の都市にて拡大理事会・ストアコンパリゾン実施する）

5【PCSA 声明】

理事会にてテーマを決めて「声明・メッセージ」を業界内外に発信する

6【研究部会・委員会】（4 研究部会・1 委員会）

- ① 各研究部会月次活動の実施（都内開催・地方開催）
- ② 「2018 研究部会活動の記録」発刊 8 月予定

- ③ 不正対策研究部会主催「不正対策勉強会」年 4 回（1、4、7、10 月）
- ④ 人事問題研究部会の「PCSA 女子活躍」に関する報告書発行
- ⑤ 各研究部会より PCSA 経営勉強会における活動の発信
- ⑥ 東京以外の都市にて開催する研究部会・研究会へその地域の会員外企業への参加を促して、PCSA 活動を紹介し、PCSA への入会勧誘を行う

7 【新年賀詞交換会】

平成 31 年 1 月 28 日（予定）

8 【PCSA フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ】

（最優秀賞 30 万円・優秀賞 10 万円 X3 作）

\* 事務局中心に会員企業並びに賛助会員企業に向けて実施する

9 【出版事業】

- ① 第 64 回 PCSA 経営勉強会 DVD（2018 年 6 月）
- ② 第 1 回 PCSA フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ（2018 年 5 月）
- ③ PCSA チャレンジブック 2019（2018 年 8 月）
- ④ PCSA 研究部会活動の記録 2018（2018 年 8 月）
- ⑤ 第 65 回 PCSA 公開経営勉強会 DVD（2018 年 9 月）
- ⑥ 第 66 回 PCSA 経営勉強会 DVD（2018 年 12 月）
- ⑦ 第 67 回 PCSA 公開経営勉強会 DVD（2019 年 3 月）

10 【情報発信事業（行政含む関係者への発信）】

- ① 「依存問題にかかる PCSA メッセージ」を法律問題研究部会中心に作成し発信する
- ② 「PCSA データベース 2018」作成発信（2018 年 8 月）
- ③ 「PCSA アクションレポート（PCSA 活動報告）」の発信（毎月）
- ④ 「業界関連ニュース」を会員・賛助会員・幹部へ発信（毎月）
- ⑤ 「経営勉強会 DVD・レポート」を業界関係者への発信（年 4 回）
- ⑥ 「駐車場幼児放置事故防止警告書」を会員企業へ発信（4 月～10 月）

11 【業界活動】

- ① ホール 5 団体代表者会議を通じて業界の課題を討議、改革を進める
- ② ホール 5 団体の各研究会、委員会を通じ協議し、PCSA の要請を前進させる
- ③ 他団体との共通テーマでの合同勉強会を開催する
- ④ 各 PCSA 研究部会への他団体関係者の参加を要請する
- ⑤ ホール 5 団体の事務局責任者との個別会合を実施し、PCSA の考え方について理解を求める

12 【政治分野アドバイザー活動】

- ① 超党派遊技産業振興議員連盟（超遊技連）を立ち上げる
- ② 各政治分野アドバイザーより「IR 議連・国会活動」の情報の提供を受ける
- ③ 自由民主党「時代に適した風営法を考える会（風営法議連）」との交流・情報交換
- ④ 各党の PCSA 政治分野アドバイザーを中心にした「情報交換会」開催
- ⑤ 各党の PCSA 政治分野アドバイザー秘書を交えた「情報交換会」開催

<予算案（1 月拡大理事会案）>

<意見>

・本日の理事会の指摘事項を反映させた案を 3 月拡大理事会で提案する。

### 第 3 号審議議案「第 64 回 PCSA 経営勉強会（案）」審議【承認】

#### 【スケジュール】

日時：平成 30 年 5 月 31 日（木） 15：30～17：45

会場：TKP ガーデンプレミアム神保町 プレミアムガーデン（スクール 240 名）

#### 【勉強会案】

第 1 案：「新しい規則で生まれる遊技機 第三弾」（パチンコ編 or スロット編）

講師：メーカー開発責任者

第 2 案：「賞品問題の解決について」

講師：渡邊 洋一郎弁護士（一般社団法人余暇環境整備推進協議会 理事）

第 3 案：「IR の見通しとパチンコ業界への影響」

講師：木曾 崇氏（国際カジノ研究所 所長）

第 4 案：「賞品問題のあるべき姿とその推進策」

講師：三堀 清弁護士（三堀法律事務所 所長）

#### <意見>

- ・遊技機、特にスロットの話が聞きたい。
- ・勉強会の時期は、機械を持ち込んで検定の結果が出るかどうかのタイミングが良いと考える。
- ・以前登壇いただいた方に聞いたところ「オフレコならばもっと話せる」と言っていた。
- ・弁護士を呼ぶのであれば、単独講演ではなく各団体の法律担当者によるパネルディスカッションが良い。
- ・法律改正は実現するための手順が重要。理想だけでは無く、方法論を持っている方が良い。
- ・IR については藤田宏アドバイザーが適任だと考える。
- ・三堀清先生に「IR の次は賞品問題」と言ってもらいたい。  
> 5 月は非公開なので 8 月がベター。
- ・IR の担当者（サンズの担当者など）に国策同士の戦いの展望といった話を聞きたい。
- ・非公開なのであれば、2 月の規則改正後の遊技機メーカーの話を知りたい。

#### <審議>

加藤：それでは 5 月の勉強会に関して、第 1 案の「新しい規則で生まれる遊技機 第三弾」（パチンコ編 or スロット編 各 1 社）で良いか？

一同：異議なし。

### 第 4 号審議議案「全日遊連へ文書発信」審議【承認】

当件について、事務局より説明があった。

#### <審議内容>

18 歳未満立入禁止の対応について、これまで PCSA では法律問題研究部会を中心に研究を続けてきた。18 歳未満の遊技者を発見した時の対応として、法律上、遊技の事実が無かったものとなるため「出玉の没収。遊技に使用したお金の返金」が、法律上にもっとも即した対応であると法律問題研究部会でコンセンサスを得ていた。

一方、全日遊連より 18 歳未満立入禁止の対応について、組合員に通知があり、その中で「出玉を没収の上に、遊技に使用したお金も返金しない」という方針が示された。それにより全日遊連にも加盟している PCSA 会員より、どのように対応したらよいか、相談が寄せられることになった。

そこで、PCSA 法律分野アドバイザーの三堀清弁護士に相談をしたところ、従来からの PCSA の意見と同意見

であり、さらに具体的な法律上の解釈を含めた解説をいただいた。

そこで、PCSA 会員企業の対応について法律的な問題が無いが、全日遊連に質問をする文書を作成した。

この理事会で審議するに当たって、事前に遊技法研究会で検討をし、全日遊連に送付する文書は「質問」ではなく、「法律的に正しい方法を PCSA 会員に案内をする」という文言に変更したい。

<意見>

・全日遊連のツールを使用している。実際に発見した場合は返金対応している。

<審議>

加藤：それでは、上記<審議内容>にあったように、文書を一部変更して全日遊連に文書を出すことに賛同いただけるか？

一同：異議なし。

加藤：文書の変更については事務局が作成し代表理事確認の上、提出する。

### 第 5 号審議議案「第 17 期 研究部会等 入会申し込み」審議【当議案の審議無し】

当件について、事務局より説明があった。

第 17 期を迎えるに当たり、例年の通り研究部会等の部員の申込を開始した。締め切りは 3 月 19 日までとしており、4 研究部会、1 研究会、1 プロジェクトチームの合計で正会員 50 名、賛助会員 21 名、合計で 71 名の申込があった。これらの部員について入会の承認をお願いしたい。

<意見>

・リーダー・サブリーダーは分かるが部員は理事会承認なのか？

> 規程で定められている。

・その規程とは？

> 「研究部会運営規程」第 4 章第 7 条に記載がある。

・理事会で入会の度に承認が必要では、流動性が阻害されるのではないか。

・承認するのは担当理事がリーダー・サブリーダーで良い。

・規程の内容が現実に即していないのであれば、規程を変えるべき。

・第 17 期の担当理事は決めないのか？

> 5 月の定時社員総会で理事が決まってからとなる。

<結論>

・5 月の定時社員総会にて規程を変更する。変更後は部員の承認を担当理事もしくはリーダー・サブリーダーとする。

### 第 6 号審議議案「ホール 3 団体での協議について」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。一般社団法人日本遊技産業経営者同友会の古屋 孝章事務局長より PCSA、同友会、余暇進のホール 3 団体の執行部で顔を合わせる場を作りたいという提案が来た。

<意見>

・今の業界は多様性があるってバランスが取れているのだと思う。

・議論をするのは悪くない。

<審議>

加藤：同友会からの、会合を持つという提案を受けても良いか。

一同：異議なし。

**第 7 号報告議案「第 17 期 第 1 回役員選考委員会」報告**

当件について事務局より説明があった。正会員代表者、監事、アドバイザー候補の皆様と連絡をし、14 名の方から承認を得た。

**第 8 号報告議案「規則改正に伴う遊技機設置状況アンケート」報告**

当件について事務局より説明があった。

## ＜アンケート結果概要＞

- ・回答社数： 正会員 24 社中 18 社
- ・アンケートは平成 30 年 2 月 19 日現在

## ＜意見＞

- ・今後の対応はどうか。
- ＞ 個社対応。

**第 9 号報告議案「第 16 期 第 63 回 PCSA 公開経営勉強会」報告**

当件について事務局より説明があった。

## ＜出席者＞

総 会： 正会員 11 名、賛助会員 31 名、特別会員 3 名、アドバイザー・業界誌 9 名  
合計 54 名

勉強会： 正会員 49 名、賛助会員 53 名、アドバイザー・業界誌 12 名、ご招待 38 名、一般(有料)2 名  
合計 154 名

懇親会： 正会員 6 名、賛助会員 24 名、特別会員 1 名、アドバイザー・業界誌 15 名、ご招待 4 名  
合計 50 名

**第 10 号報告議案「業界誌 意見交換会 出席者」報告**

当件について事務局より説明があった。

## 《遊技業界誌記者・PCSA 情報交換会》

平成 30 年 3 月 22 日（木） 午後 4 時 45 分～午後 6 時 45 分 PCSA 会議室

進行役： 藤田 宏 様（株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長）

## 『出席記者』

- ① 中台 正明 様 プレイグラフ
- ② 濱口 理佳 様 ワールド・ワイズ・ジャパン
- ③ 並木 宣史 様 フジサンケイビジネスアイ
- ④ 小迫 勉 様 遊技通信
- ⑤ 坂本 和行 様 日遊通信
- ⑥ 田中 剛 様 アミューズメントプレスジャパン
- ⑦ 池田 昂史 様 アド・サークル
- ⑧ 岡崎 徹 様（POKKA 吉田 様） シークエンス
- ⑨ 久保田 光博様 遊技ジャーナル社

## 『スケジュール』

第 1 部： 午後 4 時 45 分～5 時 30 分（45 分間）



「業界誌記者から見た「PCSA の活動」について」

第 2 部： 午後 5 時 30 分～午後 6 時 15 分（45 分間）

「業界誌記者が考える遊技業界の問題点」

例えば：①依存問題 ②2 月 1 日の規則改正 ③業界の将来 ④他

第 3 部： 午後 6 時 15 分～午後 6 時 45 分（30 分間）

「PCSA 会員・賛助会員よりの業界誌に求める要望・質問他」

『懇談会』（出席記者・会員・賛助会員・アドバイザーを交えての会食懇談会）

午後 7 時～8 時 30 分 「ホテルモントレ」着席方式

<意見>

・売上げを貸玉では無く粗利で出すように広めてほしい。

## 第 11 号報告議案 「フレッシュマン懸賞アイデア・エッセイ応募作品」中間報告

当件について事務局より説明があった。

<中間報告>

- ・3 月 20 日現在の応募数 37 通。
- ・名前、タイトル、会社名、役職、年齢は添付の資料の通り。

<意見>

- ・賞が 1 社に固まらないようにしてほしい。
- ・数が多いので一次選考をしてほしい。
- > 人事問題研究部会で事前に一次選考をしてもらう。

## 第 12 号報告議案 「研究部会・委員会活動」報告

当件について事務局より説明があった。

### 1) 人事問題研究部会 リーダー：志賀 健太郎

1. 3 月定例研究部会（3 月 9 日（金）11 時～15 時 開催・PCSA 会議室にて）

<定例研究部会>

1. 『労働新聞』説明会 4 月開催について
2. 来期活動計画策定
  - ・札幌・福島での拡大部会を開催予定。
  - ・女性活躍推進情報交換会を札幌での拡大部会で同時開催。
  - ・新卒採用情報交換会を 12 月もしくは 1 月に開催。
  - ・健康経営について定例部会で研究（健康経営優良法人の認定企業訪問検討）。
  - ・働き方改革をテーマに、労政時報勉強会を開催
3. 業界記事他について
  - ・留学生の不法就労について
  - ・精神障がい者雇用促進キャンペーンについて
4. 労政時報勉強会
  - ・日によって労働時間が異なるパートタイマーの有休休暇の取り扱いについて
  - ・従業員の反社会勢力との関係有無の確認について
  - ・産前産後休暇を取得した社員の評価について

5. 各社トピックス共有
2. 4月定例研究部会（4月13日（金）11時～15時 開催予定・PCSA 会議室にて）
  - <定例研究部会>
    1. 『労働新聞』説明会
    2. 2018年度活動計画確認
    3. 春闘要求と回答内容について
    4. 2018年新入社員入社状況について
    5. 労政時報勉強会
    6. 各社トピックス共有 他

## 2) コスト問題研究部会 リーダー：佐藤 千恵

1. 3月定例研究部会・企業訪問（3月16日（金）13時～17時 開催予定・PCSA 会議室にて）
  - <定例研究部会>
    1. 部員近況報告（コスト関連情報交換）
    2. 電力会社による デマンドレスポンスについて（節電チャレンジ）
    3. 企業トピック LED 導入結果報告 part2
    4. 来期活動計画について
      - ・グリコ工場訪問 検討
    5. 複合機導入 報告（事務局） ※詳細下記
    6. コスト削減に関する情報共有
2. 4月定例研究部会（4月12日（木）13時～17時 開催予定・PCSA 会議室にて）
  - <定例研究部会>
    1. 部員近況報告（コスト関連情報交換）
    2. 企業トピック
    3. コスト削減に関する情報共有

## 複合機 変更 見積もり 結果

平成30年3月5日(月)

### 見積もり リスト

No	社名	月額費用	月削減	年費用	年削減	削減率	カウンター単価		
							モノクロ	フルカラー	2色カラー
①	従来機A社	¥44,365	-	¥532,380	-	-	¥2.9	¥23.4	¥2.9
②	B社	¥29,929	¥-14,436	¥359,148	¥-173,232	32.5%	¥0.6	¥6.0	¥0.7
③	C社	¥36,921	¥-7,444	¥443,051	¥-89,329	16.8%	¥1.0	¥10.0	不可
④	A社新価格	¥28,183	¥-16,182	¥338,191	¥-194,189	36.5%	¥0.6	¥9.9	¥0.6

※平均プリント枚数として、モノクロ9756枚、フルカラー143枚、モノクロの4割（3902枚）を2色カラーとして「カウント」を計上しました。

### 3) 不正対策研究部会 リーダー：松本 浩

1. 2月定例研究部会（2月16日（金）13時～15時開催・PCSA 会議室にて）  
＜定例研究部会＞
  1. 役比モニターデータ開示について
  2. 最新ゴト情報・1月 ゴト被害アンケートについて
  3. 不正対策研究部会 質問コーナー「誤差玉について」
  4. 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告事項
  5. 不正対策 業界誌記事について
2. 3月定例研究部会（3月23日（金）13時～15時開催予定・PCSA 会議室にて）  
＜定例研究部会＞
  1. 2月ゴト被害アンケートについて
  2. 最新ゴト情報について
  3. 誤差玉で通常の点検では出てこなかった珍しい原因の事例について アンケート
  4. 遊技機 G 被害事例とその際のホールコンピューターデータについて アンケート

### 4) 法律問題研究部会 リーダー：荒田 政雄

1. 2月定例研究部会（2月24日（土）13時～16時開催・PCSA 会議室にて）  
＜定例研究部会＞

内容：日常営業における全国各地の事例について情報共有

  1. 賛助会員 説明会「来訪者検知システム フェイスコープ」  
説明：グローリーナスカ株式会社
  2. 依存問題対策プロジェクトチーム 報告
  3. みなし機について
  4. 役比モニターについて
  5. 国会におけるパチンコに関する質問について
  6. PCSA 法律問題研究部会 質問コーナー
  7. 禁煙・喫煙について
  8. 茨城県警 担当官 講話 平成30年1月26日
  9. ギャンブル依存症対策法案（自民・公明案、立憲・無会・自由・社民案）について
2. 3月定例研究部会（4月21日（土）13時～16時開催予定・PCSA 会議室にて）  
＜定例研究部会＞

内容：日常営業における全国各地の事例について情報共有

  1. 依存問題対策プロジェクトチーム 報告
  2. 法律問題研究部会 質問コーナー
  3. 法律ハンドブック2018について

### 5) 遊技法研究会 委員長：荒田 政雄

1. 3月定例研究会（3月22日（木）13時45分～14時45分開催 PCSA 会議室にて）  
＜定例研究会＞

内容：・18歳未満の対応について

・賞品（景品）問題について

2. 4月定例研究（4月19日（木）14時45分～15時45分開催予定 PCSA 会議室にて）  
 <定例研究会>

内容：・18歳未満の対応について

・賞品（景品）問題について 他

※2月は、第16期第3回臨時社員総会・第63回PCSA公開経営勉強会の為、開催なし。

## 6) 依存問題対策プロジェクトチーム リーダー：辻 良樹

1. 2月定例PT（2月24日（土）9時30分～12時開催・PCSA 会議室にて）

<定例会議>

1. 21世紀会について 開催：平成30年1月30日
2. 第10回依存問題対策会議について 平成30年2月23日（金）
3. 全日遊連 非組合員対応について
4. ギャンブル依存症対策法案（自民・公明案、立憲・無会・自由・社民案）について
5. RSN 研修レポートについて
6. RSN 通信について さくら通信 130号、安心娯楽通信 9号
7. その他 RCPG 発足記念セミナー

2. 3月定例PT（3月24日（土）9時30分～12時開催予定・PCSA 会議室にて）

<定例会議>

1. 安心パチンコ・パチスロアドバイザーについて
2. 自己・家族申告プログラムについて
3. 業界団体における依存対策活動について 他

## 第13号報告議案「新規則遊技機説明会（日工組）」報告

当件について事務局より説明があった。

«新規則遊技機説明会 要旨»

日時：2018年3月1日（木）午前11時～11時40分

場所：日工組会議室

### 【1. 新規則ぱちんこ遊技機について】

・規則改正に伴う組合での取り組み（資料1）

- ① 型式名について
  - ・基本記号が「CR」から変更になる。
  - ・ぱちんこ「P」、アレンジ「R」、じゃん球「J」、ちよいパチ「P ちよいパチ」、現金機・他「なし」
- ② くぎ確認シートについて
  - ・全くぎが対象になる。
  - ・シートサイズはA4になる。複数枚の場合セット枚数が分かるようにシートに記載される。  
 （例：1/2、2/2）
  - ・営業所への配布方法は以下のいずれか  
 →設置確認時に営業所関係者に直接手渡す。（こちらが主流になると思われる）

→事前取扱説明書と同時に営業所に届ける。

\* シートについては購入台数分を上限に無償で提供。シートの提供方法は会社による。

### ③ 性能表示モニタについて

・ベース値を主基板上の性能表示モニタに常時表示

\* 上記①～③は平成 30 年 2 月 1 日の型式試験申請より実施

#### ・パチンコ遊技機 性能表示モニタ 概要説明書

・主基板上に性能表示モニタを配置

・アウト 6 万個ごとに現在計測中の数値と直近 3 回の計 4 つのベースを表示。

・上記 4 つのベース値は 5 秒おきに表示。

・羽根物は羽根開放 + 拾い玉はベースと捉える。

・アウト 6 万個ごとではあるが確変時は除く低確率時のベースを表示。（例：アウト 6 万個の内確変時 5 万個であれば 1 万個分のベースの数値が出る）

・RAM を初期化しても、（設定可能遊技機で）設定を変更しても、性能表示は消すことは出来ない。

・この表示をどのように活用していくのかは未定。

#### ・設定変更装置について（資料 3）

・設定方法を日工組統一とした。

・設定がある遊技機の主基板上に「設定表示 LED」「設定キースイッチ」と「設定スイッチ」を配置。

・設定「変更」方法・・・設定キー ON のまま RAM クリアボタンを押しながら電源を OFF→ON。設定スイッチを押すことで設定が変更。設定終了後、設定キーを OFF にする。

・設定「確認」方法・・・設定キーを ON のまま電源を OFF→ON。設定を確認後、設定キーを OFF にする。（電源を OFF にしないと設定の確認ができない為、遊技客に見られない）

・設定は 1～6。スロット同様に 6 の方が甘い確率となる。

・設定変更および確認時は外部端子版でセキュリティ信号を出力すると共に、音とランプで通知。

・設定キーの形状はメーカーごとに異なる。

・設定履歴は遊技機に残らない。（今後、必要かどうかは検討していく）

## 【2. その他（質疑応答）】

・新規規則の遊技機はいつ頃出るのか？

> 申請は 2 月 1 日からスタートしている。最短で 5 月。全メーカーが出揃う頃に日工組で説明会の開催会を検討する。

## 第 14 号報告議案 「業界団体活動」報告

当件について事務局より説明があった。一般社団法人遊技産業健全化推進機構の臨時社員総会が開催された。概要は次の通り。

<記>

開催日時：平成 30 年 3 月 8 日（木） 15 時～16 時

開催場所：情報オアシス神田「オアシス 4」

決議事項：第 1 号議案 平成 30 年度事業計画（予算）の件

昨年の 4 億 2000 万円から 4 億円になる。

減らされた 2000 万円は県遊協の検査に対する助成金部分。

第 2 号議案 社員経費負担の件

例年通り、ホール側、全機連側の負担は半分づつとなる。

ホールの金額は確定していないが予算規模を見ると台当りの負担額は 50 円となる見通し。

## その他

その他 PCSA スケジュール

### <意見交換>

- ・健康増進法の改正で、加熱式タバコは分煙することにより、営業エリアでも喫煙が可能になるとの方向性が出た。そうすると、その喫煙エリアは 20 歳未満が立ち入れなくなり、パチンコホールの 18 歳未満立入禁止との 2 種類の年齢制限が出て運用が難しくなる。なお、スタートが 2020 年の 4 月 1 日の予定。
- ・加熱式タバコも喫煙室でのみにすれば対応できる。
- ・20 歳未満の方が事業所内でタバコを吸うと事業主にも責任がかかる可能性がある。

## 次回開催

平成 30 年 4 月 19 日（木）開催

### <スケジュール>

- 14 : 15～14 : 30 «第 2 回次期役員選考委員会» （理事・幹部）
  - 14 : 45～15 : 45 «第 6 6 回遊技法研究会»（委員及び理事・幹部・会員・賛助会員）
  - 16 : 00～17 : 30 «4 月拡大理事会»（理事・幹部・会員・賛助会員）
  - 17 : 45～19 : 45 «情報交換・交流会» ホテルモンテ・ラスール銀座 サンミケーレ
- 会場：PCSA 会議室

以上